

## 各業務：診療情報管理係

### —概要—

病院職員6名（診療情報管理士4名・事務員2名）で診療情報管理をとりまく環境変化に対応しながら、次の業務に取り組んだ。

1. 紙診療録保管システム（以下SSP）運用等、病歴室の業務遂行における調整管理。
2. スキャナ業務に関する管理。
3. 診療記録に関する運用等全般管理。
4. 入院診療録等の量的、質的点検。
5. 大阪府がん診療拠点病院として、院内がん登録データの作成。
6. 大阪府がん診療拠点病院の指定更新手続き。
7. 大阪府がん診療拠点病院に関連する業務。
8. DPC様式1の登録。
9. 厚生労働省提出のDPCデータ作成。
10. DPCデータ等を用いた分析及び報告。
11. DPCコーディングの適正化支援。
12. Medi-Bank（電子サマリ）システム保守。
13. 傷病名マスタの管理。
14. 疾病分類（ICD-10に基づく）及び各種統計加工分析。
15. 院内職員の診療情報等二次利用に対する支援。
16. クリニカルパスの運用支援。
17. カルテ開示対応。
18. 新任職員への診療録等に関するオリエンテーション。
19. 医師事務作業補助者への業務サポート。
20. 診療情報管理委員会はじめ12の各種委員会の事務局および委員業務。
21. 学会発表。

### —実績—

1. がん登録（全部位・入院及び外来の該当患者）  
2014年度登録症例数：600件  
（府内585件・府外15件）
2. 傷病名マスタ管理（532件 更新）
3. 各種統計加工分析：94件
4. 診療録開示対応（内容点検）101件
5. 診療情報管理委員会事務局業務（一部）
  - 1) 退院翌日から14日以内のサマリ記載率が恒常的に90%以上を維持するよう努めた。
  - 2) SSPの運用停止に向けて調整を行った。
  - 3) 院内保管しているフィルムについて、取り決めに従い整理した。
  - 4) 院外保管している診療録、フィルムの一部を整理した。
  - 5) 診療録管理規程、診療録取扱いマニュアル、診療録入力マニュアルを改訂した。
  - 6) 診療記録開示要綱を作成した。
  - 7) スキャナ削減にむけて取り組んだ。
  - 8) 一部部署において診療記録のスキャンを発生源で行う運用を試行的に開始した。
  - 9) 診療録の質的監査をおこなった。
6. 日本診療情報管理学会学術大会に於いて発表。